

議員提出議案第1号

ロシアによるウクライナへの武力侵攻の即時撤退と人道的支援に対する決議

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出する。

令和4年3月23日

能美市議会議長 田中 策次郎 殿

提出者 能美市議会議員 田中 大佐久

賛成者 能美市議会議員 中野 廣志 荒井 昌宏
中村 純子 澤田 貞
今尾 晃司 山下 毅
卯野 修三 北村 周士
仙台 謙三 山本 悟
南山 修一 東 正幸
近藤 啓子 杉田 隆一

ロシアによるウクライナへの武力侵攻の即時撤退と人道的支援に対する決議

昨年より、ロシアはウクライナ国境付近への軍備増強を行い、周辺各国は、最悪の状態を回避できるよう懸命な外交努力をしてきた。しかしながら、本年2月24日、ロシアはウクライナへの武力侵攻を開始し、明らかにウクライナの主権を侵害した。プーチン大統領は演説の中で今回の軍事行動はウクライナ東部地域から「要請」を受けたものだとしているが、主権国家への武力の行使を禁ずる国際法、並びに国連憲章への明確な違反行為であり、力による一方的な現状変更は断じて認められるものではない。

これらの行為は国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない、きわめて深刻な事態であり、ロシアに対し即刻ウクライナへの侵攻を停止し、部隊の撤退を強く求めるとともに、平和的な方法による解決を強く望むものである。

また、ロシア側は原子力発電所への攻撃を行っており、報道によれば核使用をも辞さないかのような発言もみられるなど、我が国は世界で唯一の被爆国として、これらの行為、発言は断じて許容できるものではない。

国連総会ではこの侵攻をめぐる緊急特別会合で「ロシア軍の完全撤退などを要求する決議」を賛成大多数で可決し、国会においても「ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議」が可決されるなど、国の内外を問わず国際平和の維持が求められている。

すでに、ウクライナから国外へ避難する人々が600万人を超えたとの報道も見られ、国においては平和的な解決への努力のみならず、市民への人道的支援についても積極的に行うことを求める。あわせて、国際社会と連携し、すみやかなる世界平和の実現のため、軍隊の即時撤退とロシアに対する制裁措置、並びにウクライナに対する人道支援の実施を強く求めることをここに決議する。

令和4年3月23日

石川県能美市議会